

## 第1回 HACCP普及推進地方連絡協議会 事前にいただいた御意見等

	項目	ご質問・ご意見内容
1	普及	HACCPを導入することの具体的なメリットをもっと分かりやすく説明する必要があるのではないか。
2	義務化	HACCPの導入を義務化するのであれば、義務化に向けてのロードマップ(時期や課題)をしっかりと提示してほしい。
3	義務化	必要性の高い業種(輸出ニーズが高い、食中毒の発生が多い等)から順次義務化するとよいのではないか。
4	義務化	義務化に向け、各自治体HACCPとの整合性を取ってほしい。
5	人材育成	事業者団体等が実施する研修等、支援内容の共通化が必要なのではないか。
6	人材育成	特に中小零細事業者に対して、現場において丁寧に指導・助言できる人材の育成・派遣の体制(人材バンク)づくりが必要ではないか。
7	HACCP導入型基準	従来型の衛生管理とHACCPによる衛生管理とでは、衛生管理の程度に違いがあるのか？
8	HACCP導入型基準	HACCP導入型基準の方が従来型基準より食品事業者は導入しやすいし、保健所が実施状況を監視指導する際もやりやすいと思われる。
9	HACCP導入型基準	HACCP未導入という施設であっても、作業状況を見ると実際にはCLが設定され、モニタリングも実施されていることが多い。未導入という施設には、HACCPを形にできるような指導・助言があれば、より進んだ衛生管理の実践になるのではないか。
10	普及方法	特に中小事業者では、HACCPは難しい・お金がかかるという考え方が根強い。事業者が簡単にできることから推奨するとよいのではないか。
11	普及方法	HACCPという言葉や、7原則12手順にこだわらず、相手に分かる言葉で指導する必要がある。事業者が現在行っていることを文章化してもらい、食中毒予防三原則(つけない、増やさない、やっつける)と比較してHACCPが身近であることを理解してもらい等、簡単なことから始めるとよいのではないか。
12	普及方法	HACCPにおいては、危害要因分析が難しい。正しい危害分析のやり方について、業種ごとにモデルを紹介したり、指導する必要があるのではないか。

	項目	ご質問・ご意見内容
13	普及方法	各業種ごとに具体的なHACCPプランの例を提示し、まずは「マネ」からでもHACCP導入をスタートしてもらってはどうか。
14	普及方法	同業種、地域等の単位で、スケジュールを決めて導入に取り組むとよいのではないか。
15	普及方法	HACCP導入を目指す事業者を対象に必要な研修・支援等に自治体・事業者団体が取り組み、その成果を外部に発信して導入の雰囲気を高めるとよいのではないか。
16	普及方法	HACCP導入の成功事例を各事業者団体等を通じて広く紹介するとよいのではないか。
17	普及方法	HACCP導入時の補助金や税制優遇制度等があるとよい。
18	普及方法	飲食店等については、フレキシビリティを具体的に定めることが必要ではないか。
19	普及方法	事業者サイドだけでなく、消費者にHACCPに対する理解を深めてもらうことが、HACCPを普及推進する上で大切ではないか。